



あか め み 赤ちゃんはいつごろから目が見えるの

あか め う み 赤ちゃんの目は生まれたとき見えている

う 生まれたばかりの赤ちゃんの目は、あか め あか くら 明るい、暗いがわかる、あるいはしろ しろ 黒で、まわりがぼんやり見えているのではないかとわれています。

そして、2か月もたつと、ガラガラなどを目でお 追いかけて、み 見ることができるようになります。

6か月を過ぎると、あか き みどり あお いろ 赤、黄、緑、青の色がわかるといわれ、ねん 1年たつと、ほとんどの色がくべつ 区別できるとわれています。

ひょうじょう ゆた こえ わら 表情が豊かになり、声をたてて笑うことも

め み 目が見えるようになると、あか 赤ちゃんの世界は大きくひろがります。やさしいお母さんのかあ えがお あか えがお こた 笑顔に、赤ちゃんも笑顔で答えるようになります。

さ ぶら下げてもらったメリーゴウランドが、くるくる回るのを、まわ たの み 楽しそうに見ることもできます。

ときには、ひと かあ み こえ わら ときには、あやしてくれる人の顔を見て、声をたてて笑うことも、できるようになります。(監修 保志 宏)

